

白い玉を目がけて玉を投げ、
ポッチャを楽しむ児童たち(福
知山市私市・府立中丹支援学校)



ポッチャの玉を狙え

福知山・中丹支援学校 児童ら。パラ競技体験

パラリンピックの正
式種目「ポッチャ」を
体験する授業が29日、
福知山市私市の府立中
丹支援学校であった。
手足が不自由な児童た
ちが的を狙って球を転

がし、腕を競った。
ポッチャは、白い的
玉を目がけ、赤と青の
玉を6球ずつ投げ、的
玉との距離の近さを競
う。1988年のソウ
ルパラリンピックから

正式種目となった。
同校は昨年からは、ス
ポーツの普及を目指す
府の「オリンピック・
パラリンピック教育推
進校」として、体育や
他校との交流授業など

で取り入れている。

この日は、小学部3
年の稲津美咲さん(8)
と6年伊浦百々果さん
(11)が挑戦。的玉に
狙いを定め、スロープ
状の勾配員を使って玉
を投げた。狙い通り玉
が転がると「入った」
と手をたたくて喜ん
だ。

(井上真央)